

芦屋「九条の会」16周年記念のつどい

コロナ禍と戦争

～宇宙物理学者が語る抑止力とは～

日時：2021年3月20日（土）14時～

会場：ルナ・小ホール

講師：池内 了さん（名古屋大学名誉教授、宇宙物理学者）

プロフィール：(いけうちさとる)1944年兵庫県生まれ、1972年京都大学大学院理学研究科物理学専攻修了、理学博士。現在、名古屋大学及び総合研究大学院大学名誉教授。世界平和七人委員会委員、九条の会世話人。専門は宇宙物理学・宇宙論、科学・技術・社会論。著書に、『科学者と戦争』『科学者と軍事研究』（岩波新書）、『科学者は、なぜ軍事研究に手を染めてはいけないか』（みすず書房）、『福島原発事故との伴走の記』（而立書房）等



コロナ感染が世界中に広がり、格差と貧困を固定化・拡大してきた社会の矛盾が一層深刻化しています。

グテーレス国連事務総長は、「コロナウイルスには、国籍も民族性も、党派も宗派も関係ありません。すべての人を容赦なく攻撃します。その一方で、全世界では激しい紛争が続いています。女性と子ども、障害をもつ人々、避難民など最も脆弱な立場に置かれた人々が、最も大きな犠牲を払っています」と指摘しています。

コロナ禍の最中、政治的な争いをやめて国際的な平和・協調主義が求められているのではないのでしょうか。宇宙物理学者の池内了さんにお話いただけます。

つどいの詳細は、次号でお知らせします。

世界平和七人委員会

1955年11月11日結成。正式名称は「世界平和アピール七人委員会」。結成時の委員は平塚らいてう・湯川秀樹ら7人。現在の委員は、武者小路公秀・大石芳野・小沼通二・池内了・高村薫・池辺晋一郎・島蘭進の各氏。七人委員会に加わる条件は、①実際の政治にタッチしていない人（政治家でないこと）②自由人で民主主義陣営の人③世界的に平和運動を行い得る人。

最近のアピールは「日本学術会議会員の任命拒否は許容できない」（2020.10.7）、「核兵器禁止条約批准50か国達成を祝す」（2020.10.25）等

ドイツ人青年に聞いてみた

親戚の仲間入りをした23歳のドイツ人青年に聞いてみた。第2次大戦加害国のドイツと日本は、共に人道上許されない残虐な戦争犯罪の歴史を持つ。しかし、今やドイツはEUで中心的な存在にあるのに、日本はアジア諸国との関係がギクシャクし立ち位置もイマイチ。ドイツは何故？

まず、ドイツ国民はナチスの行為と戦後の対策をきちんと了承している。敗戦時には戦争責任者は処罰され、敗戦と同時に反ナチス派が台頭して政権立て直しを進めた。全国民がナチスに心酔していたわけではなかったし、戦争責任者が戦後の政権に関わることもなかった。戦後は国民の合意の下、徹底した戦争責任追及と保障を続けていることかな・・・と。

ドイツも日本も、気付けば戦争が足下に来ていたとか。二度と同じ過ちをくり返さないために、私たちはあらゆる事に敏感でなければならない。日本学術会議任命拒否問題は政権批判を封じる民主主義の破壊であり、「関係ない」ではすまされない。

（東芦屋町 柳）

